2009年度上半期 商社の環境保全活動

当会法人正会員が、社会貢献活動や国民運動につながる啓発活動の一環として、また、日常業務の中で、取り組んでいる環境保全活動について、各社へのアンケートに基づき、主な事例をとりまとめた。

多くの事業は、環境保全に資するとともに、社員の環境意識のより一層の向上を図ることを目的に開催されている。また、個別の事業については、以下の回答が挙げられた。

- 社有林を積極的に活用し、森林環境プログラムを実施することで、自然と触れ合い、楽しみながら、森の大切さ、人と自然とのつながりを学ぶ機会を提供する。
- 生態系を回復させる通年の事業を通じて、生態系、生物多様性に対する社員の意識の向上を図る。
- 子供たちに、実験などを通じて、環境に関心を持ってもらう。
- 環境対応モデル工場の見学によって、環境改善に向けたより有効な取り組み方を学ぶ。
- 社員への環境関連の助成事業の紹介により、助成活動に対する社員の認知度向上を図るとともに、関連事業への参加促進を図る。

また、実施後の評価については、社員への環境問題への啓発にあたって、効果が高いとする回答が多かった。個別の事業については、以下の回答が挙げられた。

- 全社員が、参加できる活動をさらに検討していきたい。
- リピーター参加が多い。初参加を増やす工夫も必要である。
- 各事業部の環境インストラクターが、研修を通じて得た知識、スキルを、全社で共有していくことが課題である。
- eラーニングを通じて環境問題に対する関心が高まり、エコ検定を受検する社員が増えた。
- 社内セミナーの教材について、工夫が必要である。
- ポスターなどによる啓発活動においては、定期的に更新することで、常に意識してもらう工夫が必要である。

一方で、参加者からは、以下のような感想が挙げられた。

- 地球環境改善という社会貢献ができて気持ちよかった。
- 自然の大切さについてあらためて考える機会となった。
- 環境への貢献とともに、地域貢献活動への意識が高まった。
- 職場、家族ぐるみで環境問題を考えるきっかけとなった。
- 子供に自然の大切さを理解させる良い機会となった。
- 冊子などを配布するより、体験型の事業の方が効果的だと思う。
- 環境問題に対する自社の取り組みを学ぶことができたことは有意義だった。
- 省エネ活動に積極的な企業としてのイメージづくりに貢献したい。

1．日常生活における環境保全活動

多くの会員会社において、ポスターの掲示、イントラネットへの掲示、メール配信などにより、チームマイナス6％活動の推進、節電の徹底、クールビズの推進、ISO14001の推進などに取り組んでいる。また、国内事業所における環境省ライトダウンキャンペーン（6月20日～7月7日）、七夕ライトダウンキャンペーン（7月7日）への取り組みも多い。

このような活動と合わせて、以下のようなキ

ャンペーンなども行われた。

- **三菱商事** CO_2アクションプロジェクト（4月開始。全社CO_2削減運動。オフィスにおけるCO_2削減、勤務や営業活動にともなうCO_2削減を、グループごとに目標を掲げて推進。社員からCO_2削減につながる活動のアイデア募集）
- **三井物産** 三井物産環境月間（6月。国内支社、支店含め社員延べ約700名参加。環境の保全や持続可能な社会に向けて行動していけるよう、環境セミナー、環境基金助成先紹介セミナー、環境映画鑑賞、体験型環境ゲームなどの社員教育推進）
- **ユアサ商事** 会社設立90周年企画「クール・アース・チャレンジ！－カーボンオフセット」（6～9月、取引先企業1社1トン分のCO_2排出量を代行移転（償却）。7～9月、産業とくらしのグランドフェア出展企業のCO_2排出量を償却。6月25日～7月24日、社員1人1トン分のCO_2排出量を償却し、参加者に1日特別休暇マイクールアースデー付与）
- **双日** エコスローガン募集（8月20日制定。「エ顔コぼれる地球にしたい」。本社・グループ会社社員対象。最優秀賞はポスター化し、全フロアに掲示して周知）

また、サステナビリティ・レポート、CSRレポートなどの定期的な発行・配布により、このような社会貢献活動の取り組み、方針、事業活動における環境への配慮などをステークホルダーに積極的に説明している。

2．環境問題への理解促進

(1) 環境教室

- **伊藤忠商事** 夏休み環境教室（8月3～4日。本社所在地域の小学生など約90名参加。体験学習、自然観察、地球環境問題授業。講師・先生：気象予報士、本社・グループ会社社員、共立女子大学・短期大学学生）
- **双日** 環境教育「太陽とあそぼう」（みなとネット主催）（7月22日。港区立東町小学校にて開催。港区立東町小、南山小、麻布小、高輪台小、白金小、本村小の生徒・保護者205名参加。廃油キャンドルづくりのワークショップなど）

夏休み環境教室（伊藤忠商事提供）

- **岩谷産業** 神栖国家備蓄基地親子見学ツアー（日本LPガス協会主催）（7月30日。一般親子45名参加。LPG（液化石油ガス）の環境特性などの説明、見学）
- **岩谷産業** 青少年のための科学の祭典2009大阪大会 サイエンス フェスタ協賛（㈶日本科学技術振興財団など主催）（8月22～23日。大阪ハービスホール。2.5万人来場。約70団体出展。「身近にかくれているエネルギーを探そう！」をテーマとする体験学習コーナー設置）

(2) 講座

- **三菱商事** 上智大学 寄付講座提供「地球環境と科学技術」「地球環境学」（2009年度春期、秋期）
- **丸紅** 横浜国立大学大学院環境講座講師（日本貿易会協賛）「商社の環境ビジネス－丸紅の事例を踏まえて」（4月23日。大学院生など約30名受講。講師：丸紅経済研究所　チーフアナリスト 猪本有紀氏）
- **岩谷産業** 早稲田大学講座講師「エネルギーと地球環境の国家戦略とビジネス（水素エネルギーについて）」（7月10日。学生約100名受講。講師：岩谷産業㈱ 社長 牧野明次氏）

(3) 公開セミナー

- **兼松** 自主参加型国内排出量取引制度 第5期公募説明会講師（環境省主催）「取引参加者が果たすべき役割」（4月2日、福岡朝日ビル、約20名参加。4月6日、北海道自治労会館、約60名参加。講師：兼松㈱ エネルギー部直売課長 青木淳一郎氏、同課 長谷川公彦氏）

(4) 社内一般セミナー

- **三井物産** 講演会「生物多様性について知ろう！わたしたちの生活との関わりのなかで」（6月4日。東京本社。本社・グループ会社社員89名参加。講師：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所教授 湯本貴和氏）
- **三井物産** 三井物産環境基金 助成案件紹介セミナー①「関東ツーリズム大学設立準備事業」、②「荒廃熱帯雨林に関する研究」、③「北方四島及び千島列島における生態系の日露共同研究」、④「レインメーカープロジェクト」（①②6月8日、42名。③④6月16日、35名。東京本社。本社・グループ会社社員参加。講師：①NPO法人えがおつなげて 代表 曽根原久司氏、②京都大学大学院 教授 小林繁男氏、③NPO法人北の海の動物センター 理事 小林万里氏、④NPO法人横浜アートプロジェクト 理事長 榎田竜路氏）
- **三井物産** 講演会「生物多様性について」（6月11日。九州支社。本社・グループ会社社員41名参加。講師：㈶日本野鳥の会 福岡市油山自然の森担当 永松愛子氏）
- **三井物産** 講演会「温暖化への日本の対応」（6月26日。東京本社。本社・グループ会社社員69名参加。講師：㈶地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長 茅陽一氏）
- **伊藤忠商事** 講演会「生物多様性と企業の取組み」（7月10日。東京本社。本社・グループ会社社員約70名参加。講師：㈶世界自然保護基金ジャパン 生物多様性条約担当 粟野美佳子氏、㈱レスポンスアビリティ 代表取締役 足立直樹氏）
- **住友商事** 生物多様性セミナー（7月15日。東京本社（関西ブロック、中部ブロック、住友商事九州に同時中継）。本社・グループ会社社員約90名参加。講師：日本経済団体連合会自然保護協議会企画部会長・住友信託銀行審議役 石原博氏）
- **丸紅** 環境講演会「経済と環境－無限を前提とした経済の終焉－」（9月15日。東京本社。本社・グループ会社社員147名参加。講師：丸紅経済研究所　所長 柴田明夫氏）

(5) 社内実務セミナー

- **ユアサ商事** 環境インストラクター研修（2月6日～8月計10回。東京本社など。本社・グループ会社環境インストラクター12名参加。講師：㈶省エネルギーセンター 指導員 野網正幸氏、ユアサ商事㈱ YES室長 広瀬薫氏など。グループ内環境事業、法制度の説明、環境機器製造工場見学）
- **三井物産** 新任環境管理担当者研修（ISO14001規格入門コース）（4月17、23日、69名。6月29日、26名参加。東京本社。講師：ISO（国際標準化機構）関連研修機関）
- **三井物産** 環境リスク・環境債務セミナー（4月28日。東京本社。本社・グループ会社環境管理担当者99名参加。講師：㈱三井化学分析センター、みずほ情報総研㈱）
- **双日** 環境担当者向けISOセミナー（4月28日、5月1日。東京本社。本社ISO担当者96名参加。講師：ISO関連コンサルティング機関）
- **豊田通商** ISOセミナー（5月11～21日計9回。名古屋本社、東京本社、大阪支店。本社・グループ会社社員計約650名参加。講師：地球環境室）
- **長瀬産業** 環境学習（5月25日～6月5日。東京本社。本社新入社員、その他希望者69名参加。講師：品質・環境管理室）
- **双日** 内部環境監査員養成セミナー（7月6、8日。東京本社。本社内部環境監査員25名参加。講師：ISO関連コンサルティング機関）
- **伊藤忠商事** 土壌汚染問題セミナー（7月30日。

大阪本社。本社・グループ会社社員約70名参加。講師：イー ・アール・エム日本㈱ マネージングディレクター 野間辰哉氏）

- **三井物産** 環境法令セミナー（7月31日。東京本社。本社・グループ会社環境管理担当者22名参加。講師：ISO関連研修機関）
- **三井物産** 内部環境監査員研修（ISO14001）（8月10日～9月10日計6回。東京本社。社員約145名参加。講師：ISO関連研修機関）
- **伊藤忠商事** 廃棄物処理法講習会（9月3日。大阪本社。本社・グループ会社社員約120名参加。講師：地球環境室）
- **住友商事** 内部環境監査員力量アップ・セミナー（9月18日。東京本社。本社・グループ会社社員約50名参加。講師：㈱品質保証総合研究所 セミナー開発部長 原田充裕氏）

(6) その他研修など

- **豊田通商** eラーニング（eco基礎知識）（6月～。本社・グループ会社社員対象）
- **住友商事** eラーニング環境講座（8月～。本社新入社員、2009年度海外帰任者対象）

- **三井物産** 環境経営戦略ゲーム（体験参加型プログラム）（6月5、12、18、25日、東京本社、49名。6月11日、東北支社、43名。6月16日、九州支社、12名。6月17日、中国支社、14名。本社・グループ会社社員参加）
- **三井物産** 環境映画上映「11th Hour」（6月11、12日、関西支社、84名。6月18、22日、東京本社、125名。6月25日、中部支社、59名。6月29日、九州支社、29名。本社・グループ会社社員参加）
- **日立ハイテクノロジーズ** グリーン・ワークショップ（シンガポール・アセンダス社主催）（6月23日。シンガポール。現地法人社員16名参加。自然素材石けんづくり）
- **日立ハイテクノロジーズ** グリーン・トーク（シンガポール・アセンダス社主催）「気候変動と地球温暖化がもたらす恐怖」（6月30日。シンガポール。現地法人社員20名参加）

森と自然とふれあおう！（三井物産提供）

- **豊田通商** サステイナブル・プラント見学会@TOYOTA～トヨタ自動車堤工場見学（6月30日。本社・グループ会社 環境管理責任者・環境リーダー ・ISO事務局100名参加。環境対応モデル工場であるハイブリッド車プリウス生産工場において、太陽光発電、屋上緑化、光ダクト、工場壁面への環境に優しい光触媒塗料の塗装、工場敷地内の植樹、ビオトープ、緑の堀、ソーラー外灯の設置などを見学）
- **三井物産** CSR映画の夕べ「HOME～空からみた地球」（9月7日。東京本社。正・派遣社員約200名参加）

- **丸紅** エコ検定受検推進（7月。本社・グループ会社社員対象。メールにて全社員に告知）
- **ユアサ商事** エコ検定受検推進（7月。本社社員対象。合格者の受験料を全額負担）

3．地域における環境保全活動

(1) 緑化活動、生態系保全

① 主催

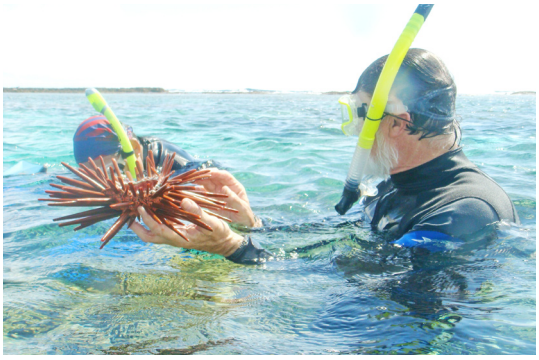
- **メタルワン** 第12回メタルワン東京本社環境ボランティア（春の植樹・植栽）（4月11日。本社・グループ会社派遣・正社員・家族346名参加。神奈川県宮が瀬ダム湖畔園地にアジサイの苗1,200株植樹）
- **日立ハイテクノロジーズ** 北海道日立グループ下草刈り（日立グループ主催）（5月16日。北海道勇払郡。支店・グループ会社社員・家

族8名参加）

- **三井物産** 社員向け森林環境プログラム（5月16日。千葉県亀山社有林。本社社員、派遣社員、同家族34名参加。間伐および道づくり体験。）
- **日立ハイテクノロジーズ** 日立ハイテクやさとの森植林活動（5月22日。茨城県。新入社員108名参加。下草刈り）
- **三井物産** 谷津田再生プロジェクト2009年度第1、2、3回プログラム「田植え」「草取り・生物調査」「草取り・ホタル観察」（5月24日、63名。6月27日、47名。7月25日、36名。本社・グループ会社社員・家族参加。5月に田植え、6、7月に除草、生物観察など）
- **三井物産**「三井物産の森」を活用した森林体験教室「森と自然とふれあおう！」（6月13～14日（日本野鳥の会との共催）、北海道似湾山林、37名。7月18～19日、福島県田代山林、26名。7月25～26日（日本野鳥の会との共催）、北海道似湾山林、39名。8月1～2日、新潟県南葉山林、56名。一般公募。生物観察のほか、似湾山林では、早朝バードウオッチング、生き物マップづくり、干潟観察、田代山林では、間伐体験、登山、南葉山林ではツリークライミング、ナイトハイキング）
- **三菱商事** サンゴ礁保全プロジェクト・ボランティアプログラム（9月5～9日、沖縄、社員など11名参加、指導：琉球大学 熱帯生物圏研究センター実験所。7月17～31日、ミッドウェイ、現地法人・事業投資会社社員5名参加、指導：カリフォルニア大学サンタクルース校 教授 ドナルド・ポッツ氏ほか。海洋生物、地形データの収集、分析など研究サポート。セーシェルの取り組みと合わせて中間報告レポート作成）

② 協力

- **岩谷産業** オックスファム・トレイルウォーカージャーパン2009協賛（NPO法人オックスファム・ジャパン主催）（5月22～24日。富士箱根伊豆国立公園地域。社員6名参加。「富士の湧水」ウォーターサーバー、ガロンボトル提供。寄付金は途上国の農業支援など）



サンゴ礁保全プロジェクト・ボランティアプログラム
（三菱商事提供）

- **豊田通商** 富士山の森づくり植林ボランティア（㈶オイスカ主催）（5月23日。本社・グループ会社社員・家族100名参加。富士山麓植林）
- **伊藤忠商事**「企業のふるさと」制度活動（和歌山県主催）（5月30日（田植え）、9月26日（稲刈り）。大阪本社社員約50名参加。和歌山県かつらぎ町天野地区で田植え、稲刈り、ホタルの遮光ネット張り、丹生都比売神社清掃）
- **日立ハイテクノロジーズ** グリーンデー（シンガポール・アセンダス社主催）（6月19日。シンガポール。現地法人社員・家族8名参加。ケントリッジ公園植林）
- 第15回花のおもてなし運動（中部経済同友会地域開発委員会主催）（6月24日。名古屋市久屋大通り・桜通大津交差点付近花壇植栽）
  丸紅 支店社員5名参加
  阪和興業 支店社員4名参加
- **日立ハイテクノロジーズ** いずみの森森林保全活動（㈶大阪みどりのトラスト協会主催）（6月27日。支店社員・家族9名参加。大阪府泉佐野市いずみの森除伐、間伐）
- **丸紅** 東京グリーンシップ・アクション（東京都主催）（9月26日。本社・グループ会社社員・家族47名参加。青梅上成木森林環境保全地域の間伐）

(2) 美化運動

① 主催

- **阪和興業** 阪和流通センター周辺一般道路清掃（毎月。各支店社員参加。習志野、船橋、仙台、大阪、名古屋の流通センター周辺一般道路清掃）
- **豊田通商** トヨタクリーンネット（トヨタグループ主催）（四半期ごとに実施）（6月25日。支店社員21名参加。刈谷支店周辺清掃）
- **伊藤忠商事** お花見クリーンアップ（4月6日。本社社員12名参加。青山霊園周辺清掃）
- **住友商事** 清掃活動（4月9、13日。本社社員約200名参加。東京本社周辺清掃）
- **丸紅** 富士山清掃活動（NPO法人富士山クラブ、㈶留学生支援企業協力推進協会 協力）（9月5日。本社・グループ会社社員・家族、在日留学生計101名参加。富士河口湖町精進国道139号線付近清掃）

② 協力

- **双日** 赤坂 街のおそうじ活動（グリーンバード赤坂チーム企画）（毎月第2、4火曜日。本社・グループ会社社員延べ59名参加。赤坂地区清掃）
- **稲畑産業** 御堂筋清掃活動（堺筋アメニティ・ソサエティ主催）（毎月第1営業日。毎回社員7～8名参加。大阪本社周辺御堂筋清掃）
- **阪和興業** クリーンおおさか2009（大阪市主催）（5月15日。支店社員40名参加。御堂筋清掃）
- **阪和興業** 平成21年度春季かすがいクリーン大作戦（春日井市主催）（5月23日。支店社員16名参加。寮周辺清掃）
- **丸紅** クリーンキャンペーンなごや・2009（名古屋市主催）（6月6日。支店社員12名参加。守山区小幡緑地周辺清掃）
- **日立ハイテクノロジーズ** ラブアース・クリーンアップin北海道2009（NPO法人北海道市民環境ネットワーク主催）（6月6日。支店社員・家族7名参加。札幌市円山動物園清掃、草刈り）
- **伊藤忠商事** ごみゼロ・クリーンウォーク（広島市主催）（6月7日。本社・グループ会社社員計11名参加。広島市内清掃）
- **伊藤忠商事** 赤坂青山美しいまちマナーのまち（港区赤坂地区総合支所主催）（6月18、19日。本社・グループ会社社員23名参加。赤坂・青山地区清掃）
- **長瀬産業** 第39回名橋「日本橋」を洗う会（名橋「日本橋」保存会主催）（7月26日。社員8名参加）

(3) リサイクル運動

- エコキャップ収集運動（回収箱設置、社員への協力推進）

  豊田通商（国内事業所18ヵ所。2009年度上半期347,880個回収。社内イントラネットで協力を推進。リサイクルされたキャップはエコ・プライ（優良木質建材など認定）などに再生）

  メタルワン（東京本社。2009年度第1回（7～9月））
- **阪和興業** 未使用の切手、書籍、テレホンカードなど回収（シャプラニール主催）（毎月）

4．環境製品・サービスの普及など

- **岩谷産業** アースデイ東京2009出展（テーマ：未来をグリーンに変える強烈パンチ）（アースデイ東京2009実行委員会主催）（4月18～19日。代々木公園。14.0万人来場。水素燃料電池電源車、水素トレーラー紹介）
- **豊田通商** 2009NEW環境展出展（テーマ：守ろう地球 創ろう共生社会）（日報アイ・ビー主催）（5月26～29日。東京ビッグサイト。17.0万人来場。植物由来ポリエチレン紹介）
- **ユアサ商事** 産業とくらしの「グランドフェア」後援（やまずみ会主催）（7月3～4日、関東、幕張メッセ。7月24～25日、東北、夢メッセみやぎ。9月4～5日、中部、ポートメッセなごや。9月11～12日、九州、マリンメッセ福岡。環境・省エネ機器紹介）

  オープンセミナー「地球温暖化が変える企業

2009WSR／JISFCソーラーカーラリー協賛
（岩谷産業提供）

経営」（7月3日。幕張メッセ。関係企業社員110名参加。講師：国連環境計画金融イニシアティブ特別顧問 末吉竹二郎氏）

- **岩谷産業** 西日本水素ハイウェイ実証デモンストレーション実施（中国経済産業局などとの共催）（7月27～30日。堺市～北九州市間約700km。液化水素製造拠点ハイドロエッジなどで燃料補給し水素自動車走行実験）
- **岩谷産業** 2009WSR／JISFCソーラーカー・ラリー協賛（全日本学生ソーラー＆FCカーチャンピオンシップ（JISFC）、ワールド・ソーラーカー・ラリー（WSR）大会実行委員会主催）（8月10～12日。秋田県大潟村。水素の提供、試乗会）

5．表彰

- **双日** 平成20年照明普及賞 優秀施設賞受賞「モラージュ菖蒲（双日グループが展開する大型ショッピングセンター）」（㈳照明学会主催）（6月12日発表。受賞理由：スポット照明にLED（発光ダイオード）を採用し、店舗のデザイン照明を主役にすることで共用部照明の縮減を図るなど、従来のショッピングセンターに比べて約20％の省エネを実現）

6．助成

- **伊藤忠商事** 研究支援など（滋賀県（琵琶湖流域統合管理モデル研究、3年間（2年目））、世界自然保護基金ジャパン（ボルネオ島森林再生プログラム支援、5年間（1年目））、東京大学気候システム研究センター（地球温暖化など基礎研究支援、19年目））
- **三井物産** 三井物産環境基金2009年度第1回活動助成（計1億8,600万円・18件。㈶オイスカ（中国における緑化と貧困削減）、NPO法人グローバルヒューマン（琵琶湖固有の生態系保全と地域再生）、NPO法人ごみじゃぱん（包装ごみの抑制）、NPO法人アロアシャ・プロジェクト（バングラデシュにおける太陽光発電の導入による地域改善））など。
- **三菱商事** 欧州アフリカ基金2009年度助成計画（計約5,300万円（35万ポンド）。ファーム・アフリカ（2年間）、英国渡り鳥・湿地基金、ロンドン動物学会アニマル・アドベンチャー展、バードライフ・インターナショナル（渡り鳥の追跡研究）、コンサーン・ユニバーサル（ギニア零細農家支援）、ファウナ＆フローラ・インターナショナル（ルーマニア環境団体）、ピース・パークス財団（南アフリカ野生生物大学学生支援）、中・東欧地球環境センター（ブルガリア西部地域の生物多様性保全について学生教育促進）、アースウォッチ・ヨーロッパ（環境保全研究支援）、ウォーターエイド（モザンビークの首都マプトで水の供給、公衆衛生教育改善）、植物園自然保護国際機構（16年目）など）

（企画グループ）